

令和4年度

決算報告

歳入歳出決算は3億3645万円の黒字

一般会計

一般会計は、道路の整備や教育、ごみ処理など身近な生活全般の経費を賄っています。

令和4年度の決算は、歳入12億7022万円、歳出126億2535万円となり、ここから令和5年度に繰り越して使用する842万円を差し引くと3億3645万円の黒字決算となりました。

町の貯金である基金残高は前年度比4億7765万円増の33億4998万円となりました。

令和4年度の白老町の決算状況についてお知らせします。

※文中の数値は概数で記載しています。

歳入

↳ 町税・寄付金増

皆さんから納められた町税については、表1の通りとなっています。

表1 町税の内訳

税目	R4年度決算
個人町民税	5億7,608万円
法人町民税	1億5,159万円
固定資産税	15億9,441万円
軽自動車税	4,051万円
町たばこ税	1億7,691万円
入湯税	2,095万円

歳出

↳ 普通建設事業費

歳出全体では、前年比2734万円の減少となりました。

非課税世帯臨時特別給付金事業の終了などより扶助費が1億5441万円の減となったほか、特別養護老人ホーム事業会計の廃止に伴う、公営企業債の繰上償還などによる繰出金2億4384万円の減などが主な減少要因となっています。

一方、増加要因としては、ふるさと納税の返礼品に係る費用や、公共施設の光熱水費の増などによる物件費3億2115万円増のほか、白老橋の修繕に係る負担金やバンノ沢川砂防工事などの普通建設事業費が1億5040万円増となっています。

特別・企業会計

特別会計2億1715万円黒字・企業会計は資金不足なし

また、一般会計とは別に、国民健康保険や介護保険などの特別会計、上下水道と病院については公営企業会計を設置して運営しています。

特別会計は、一般会計からの繰入金を含め、全体で2億1715万円の黒字となり、5会計すべて黒字もしくは差引収支額はなしとなっています。

一方、企業会計は、積立金、留保資金のほか、一般会計からの繰出金で補てんしたことから、資金不足は発生していません。